

目 次

巻頭言

商学部開設60周年・商科開設100周年

記念号の発刊に寄せて……………海道 ノブチカ (i)

論 文

企業危機とコントローリング……………深 山 明 (1)

事業体の区間効率値を評価するための

DEA モデル ……………瀬 見 博 (33)

ドイツ型コーポレート・ガバナンスの基調……………海道 ノブチカ (49)

経営学原理の対象と方法……………渡 辺 敏 雄 (73)

—村田和彦氏の見解を中心に—

自社株買いのアナウンスによる株式価値の増加……………榊 原 茂 樹 (97)

—理論的増加額とその原因分析—

中堅企業の現状と政策期待……………山 口 隆 之 (127)

—フランス中堅企業論の展開—

関西学院高等学部商科草創期の卒業生と

貿易商社……………木 山 実 (145)

実践共同体概念の考察……………松 本 雄 一 (163)

—3つのモデルの差異と統合の可能性について—

生産性と成果分配の指標……………梶 浦 昭 友 (203)

戦略管理会計の再検討……………小 菅 正 伸 (225)

IAS 21 における親会社機能通貨決定の問題点……………井 上 達 男 (251)

—考慮要因およびシミュレーション分析—

財務諸表レベルの重要な虚偽表示のリスクと

全般的な対応……………林 隆 敏 (269)

土壌汚染浄化活動を支援する会計・

マネジメントツール……………阪 智 香 (289)

日産自動車におけるクロスファンクショナル・チーム (CFT) の活動……………浜田和樹 (307)	
—再生のための活動とその後の活動の管理会計の立場からの考察—	
社会科学における	
ロジスティクス教育体系への試み……………伊藤秀和 (333)	
消費者情報処理パラダイムの課題……………須永努 (379)	
—コンピュータ・アナロジーからの転回—	
離散・連続混合変数を含むセミパラメトリック	
動的パネルデータモデルの統計的推定……………杉原左右一 (397)	
関西学院大学商学部の源流を探る(1) ……福井幸男 (411)	
—貿易港神戸の発展と人口爆発—	
国際複占、研究開発投資とスピルオーバー……………広瀬憲三 (435)	
—差別化財クールノーモデルのケース—	
線形基底関数モデルにおける実行可能型	
一般化リッジ回帰推定量の正確モーメント……………地道正行 (451)	
ネットワークの影響は持続するのか?……………岡村浩一郎 (477)	
—日本プロ野球選手間ネットワークが選手パフォーマンスに与える影響—	
ビジネスにおけるフレーミング……………則定隆男 (505)	
アジア・太平洋州におけるGDP構成変数の分析 ……藤澤武史 (527)	
—国家競争力と対比させて—	
「東アジア共同体」の構築と「歴史認識」の相違 ……山本俊正 (549)	
—日本のキリスト教運動の取り組み—	
語彙的受動態における与格認可について……………田中裕幸 (567)	
たたく行為の日英語表現比較……………嶋村誠 (583)	
『心聲半月刊』と1920年代上海の伝統演劇 ……藤野真子 (603)	
メキシコ市内旧先住民村落の	
「公的認定」をめぐる ……禪野美帆 (623)	
—「地元民」が期待すること—	
『タイム』を朗読するカーツ ……伊藤正範 (647)	
—『地獄の黙示録』におけるジャーナリズム—	
ふたつの二重視……………大貫隆史 (667)	
—ポピュラー・ポリティクスとプレヒト再発見—	

欧文目次..... (689)